

令和6年6月

# 魚津市定例記者会見



日時：令和6年5月31日(金) 午後1時30分～午後1時50分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞、NHK 富山放送局、  
北日本放送、NICE-TV、ラジオミュウ

市当局出席者：市長、財政課長、情報広報課長

## 【市長からの発表事項】

### 1. 6月市議会定例会に提案する補正予算

(財政課)

- ・6月定例会に提出する補正予算額は205,540千円となった。(資料に基づき説明)

①重点対策加速化事業 (ゼロカーボンシティ 推進事業)

②交通DX (オンデマンド交通) 実用化事業

③耐震改修促進事業

④園芸産地スケールアップ事業

⑤公共施設敷地購入 (給食セ、旧上中島小)

⑥企業立地助成金

⑦コミュニティ助成事業

ほか公衆浴場衛生設備改善支援 など7事業

### 2. 高校生向け合同企業説明会

(商工観光課)

昨年も実施をしているが、今回は高校3年生を対象とし、株式会社ライセンスアカデミーさんとの共催により開催する。富山県内の高校が対象ということで、市内に限ってはならず昨年も上市高校や、入善高校など、市外の高校生さんも加わっておられる。100名あまりの参加が見込まれ、出店事業者も、30社ほどの予定。ぜひマッチングの1つの機会として活用をしていただければというふうに考えている。

3. 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト 親子体験会  
(農林水産課)

むかいさんちの農園で親子 10 組 20 名の参加を予定をしており、内容は、ブルーベリーの収穫体験、加工体験等を実施する予定。

4. さんさん介護予防倶楽部での e スポーツ体験会  
(健康センター)

サンプラザで、さんさん介護予防倶楽部の皆さん、約20名を対象に、e スポーツ大会を開催する。今回は太鼓の達人に挑戦していただく。本市と包括連携協定を締結している大塚製薬株式会社様から、栄養補助食品をご提供をいただくことになっており、当日の参加者をはじめ、通常の参加者に配布予定。

5. 熱中症特別警戒アラート発表時における指定暑熱避難施設  
(クーリングシェルター)」の指定  
(生活環境課)

市役所の第一厚生室、図書館の閲覧室、ありそドームのアトリウム、この3か所をクーリングシェルターとして指定した。開放日時は、それぞれの施設の会館日時となる。6月1日から10月23日までの期間で、熱中症の特別警戒アラートが発表された日ということになる。このアラートは前の日の午後2時頃に発表するために、関係機関への情報提供と市民への周知を、しっかり行っていきたい。またこの後、必要に応じて民間施設や公共施設の適切な場所があれば、追加等もしていきたい考えている。

【質疑応答の内容】

○「6月補正予算オンデマンド交通実用化事業」について

《記者からの質問》

令和7年度の導入を目指し、公共交通ネットワークはオンデマンド交通を導入したとする、この体系のことを指しているのか。

《回答》(市長)

令和7年度末までに実用化を睨んで取り組みを進めたいと思っている。まずモデル地区、1～2か所で実施し、その中で出てきた課題みたいなものを1回押さえた上で、横展開を今年度やっていくという形になる。このネットワークの構築は、魚津市だけでオンデマンド交通を作るということではなくて、いろいろな関係の方々と一緒に作っていく者だと考えている。民間の交通事業者さんや、大学などと関わりながら、人材を育てていくということを念頭においている。その人材を育てていきながら、持続的なオンデマンドシステムを作るというところが、目指すところになる。市民バスについても、なくなるわけではなく、お客さんのニーズに応じた運行について検討していく。

○「クーリングシェルター」について

《記者からの質問》

それぞれの施設はどれくらいの規模なのか。

《回答》（市長）

本庁舎の厚生室は、あまり広くないので10人程度かと思う。図書館の閲覧室は20人程度。ありそドームのアトリウムは30人程度は入ることができると思うが、緊急的に避難する場所であるため、たくさん押し寄せるといったイメージは持っていない。危険な状況の時は、各施設で涼んでいただきたい。

○「同性間事実婚の住民票」について

《記者からの質問》

長崎県大村市で、事実婚の方に住民票を発行するといった報道がされていたが、魚津市の方で、このような形の住民票を発行するのか。

《回答》（市長）

今後、このようなご希望が出てくる可能性もありますので、皆さんとしっかり検討していきたい。

○「坪野鉦泉の跡地」について

《記者からの質問》

跡地利用に関して、何か今思われていることはあるのか。

《回答》（市長）

もともと民間業者さんが主体で解体をしていくという事業なので、そちらの方は所有者と相談していく必要がある。見晴らしがとてもいい場所なので良い活用をしていければなという思いはある。